

2015年11月～12月のJ-stage アクセスランキング

(対象論文：44巻1号～50巻3号に掲載された総説、原著、速報、技術調査報告、ノート、資料の計216編)

上位20位の論文情報

順位	DL	論文種別	タイトル	主著者	巻	頁
1	44	総説	大気汚染の健康影響に関する疫学研究-自動車排出ガスと微小粒子状物質	島 正之	50	67
2	38	原著	トレーサー法を用いたわが国の硫酸塩濃度に対する国内外の発生源寄与評価	板橋秀一	50	138
3	37	原著	大気エアロゾル中のイオン成分および無機元素成分の粒径別高時間分解能測定	辻 昭博	48	82
3	37	技術調査報告	2013年11月4日に東日本として初めて注意喚起が実施された千葉県のPM2.5	市川有二郎	50	152
5	33	速報	2013年1月に中国北京市で採取した高濃度PM2.5,PM1の特徴	米持真一	48	140
5	33	総説	地域スケールの化学輸送モデリング	森野 悠	50	131
7	29	原著	九州北部における春季の高濃度PM2.5と長距離輸送	兼保直樹	45	227
8	24	原著	関東地方におけるNOxおよびVOC排出削減のオゾン濃度に与える影響	桐山悠祐	50	8
9	20	原著	関東地方における夏季地表オゾン濃度のNOx、VOC排出量に対する感度の地域差	井上和也	45	183
10	19	総説	PM2.5の疫学と健康影響:日本人のリスク評価の視点から	武林亨	46	70
10	19	原著	関東地域における揮発性有機化合物(VOC)排出量の変化と光化学オキシダント	星 純也	48	215
12	19	原著	長崎県福江島・福岡県福岡市におけるエアロゾル金属成分の特徴と発生源推定	鈴木亮太	49	15
12	19	原著	首都圏における夏季高濃度オゾン出現に関わる前駆物質(NMHCとNOx)の挙動	吉門 洋	50	44
14	18	原著	東アジアから輸送される汚染大気中の炭素質エアロゾルの変動と発生源推定	島田幸治郎	46	1
14	18	ノート	沖縄辺戸岬での長期連続観測による越境大気汚染物質の経年変動	重富陽介	47	45
14	18	技術調査報告	2011年度の連続測定結果に基づく全国的なPM2.5汚染の状況解析	板野泰之	48	154
17	17	原著	3次元大気シミュレーションによる2005年度日本三大都市圏PM2.5濃度に対する	茶谷聡	46	101
17	17	原著	九州北部の離島および大都市部におけるPM2.5濃度の通年での挙動	兼保直樹	46	111
17	17	原著	エアロゾル質量分析計により沖縄県辺戸岬において観測されたエアロゾル化	三好猛雄	48	1
17	17	原著	2011年11月に関東で観測されたPM2.5高濃度の解析	長谷川就一	49	242
17	17	技術調査報告	福島県浪江町の里山に大気沈着した放射性セシウムの森林内分布と挙動	黒島碩人	49	93
17	17	ノート	関東平野南部における光化学オキシダント高濃度域と海風との関係	中島 虹	50	92

同一IPアドレスからの複数アクセスは1回とカウントしています。